LIBERTY ALLIANCE PROJECT

Liberty Alliance Project :

Webサービス・アプリケーション・アーキテクチャへ与えるインパクト

Jason Rouault/Hewlett-Packard
Chairman, Liberty Alliance Technology Expert Group

LIBERTY ALLIANCE PROJECT

本日の議題

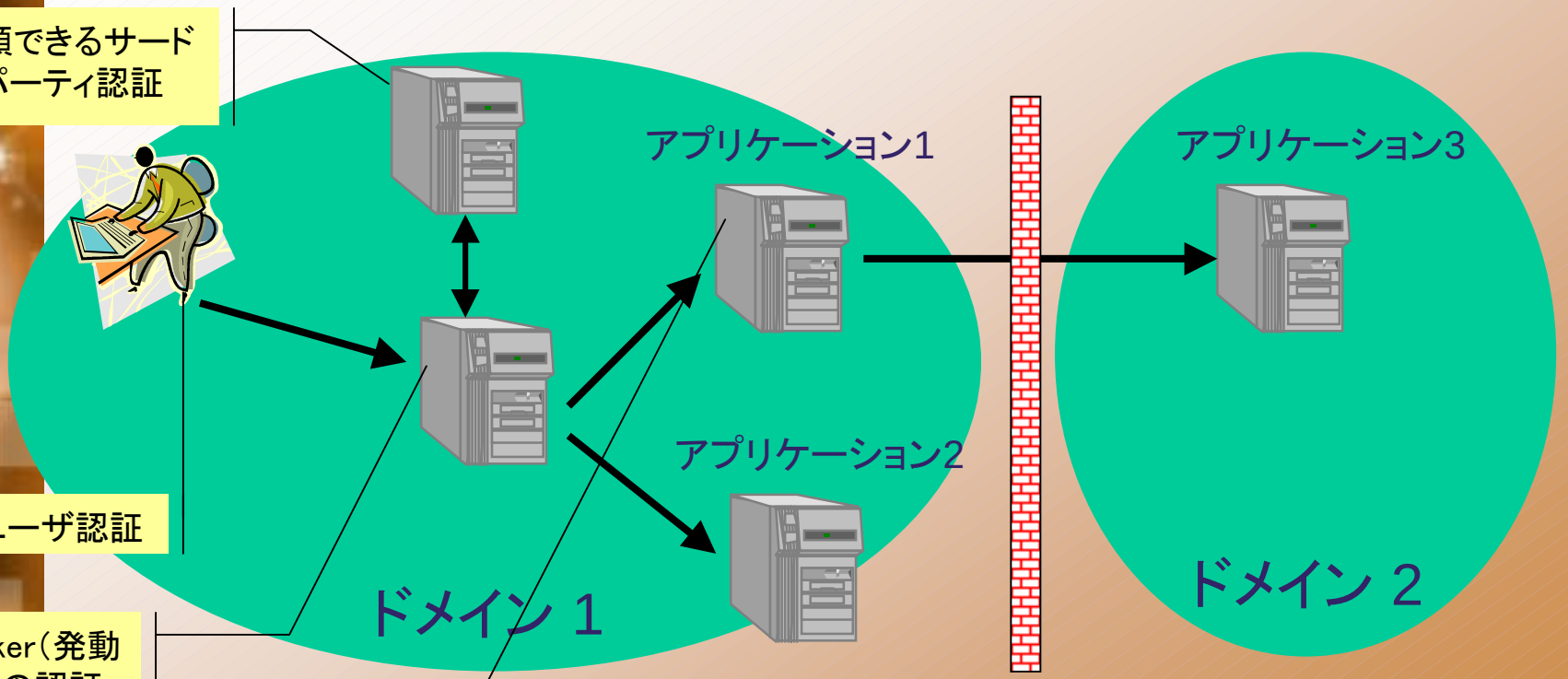
- アーキテクトが直面しているビジネスの課題
- アプローチ方法
- Liberty Allianceの問題への取り組み
- 事例: 連携認証およびwebサービスの実際
- ベネフィット

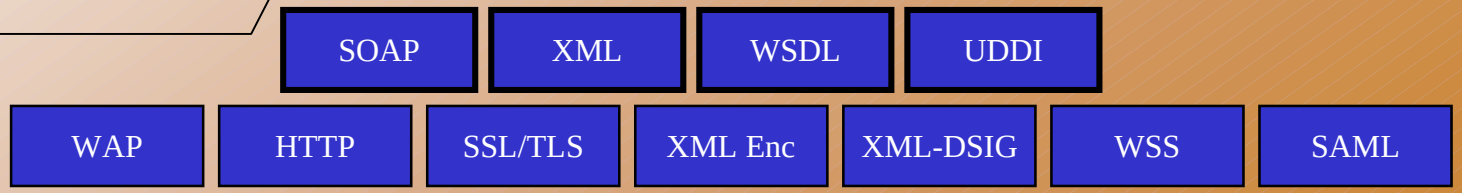
LIBERTY ALLIANCE PROJECT

Webサービス、セキュリティ、認証

Webサービスは統合アプリケーション向けに新しい仕様を提供

企業にWebサービスのセキュリティについて全く新しい考え方を提案





LIBERTY ALLIANCE PROJECT

Webサービス、セキュリティ、認証

企業が革新的なWebサービスを計画する際に直面する問題：

- 認証管理技術製品の間で相互運用性がない
- 企業が個人情報および多様なWebサービスに関わる機密事項の管理に対する標準技術およびベストプラクティスがない
- 企業が個人情報を消費者および他のエンドユーザから守る、認証管理モデルがない(集中モデル型のセキュリティの危険性を軽減する)
- 大切な顧客のプライバシーを守り、多種多様なプライバシー規則に対応するベスト・プラクティスを確立した産業がない

Liberty Allianceは、安全かつ相互運用可能な認証に基づくWebサービスを運営できる革新的なフレームワークにより問題を解決します。

LIBERTY ALLIANCE PROJECT

いくつのパスワードとEメールアドレスをお持ちですか？

問題

様々な個人情報が分離したインターネット・サイトに散在している

例えば

- ユーザーネーム:　Jason Rouault
- Email: jrouault48@freemail.com
- PIN: wcs@foobar.com

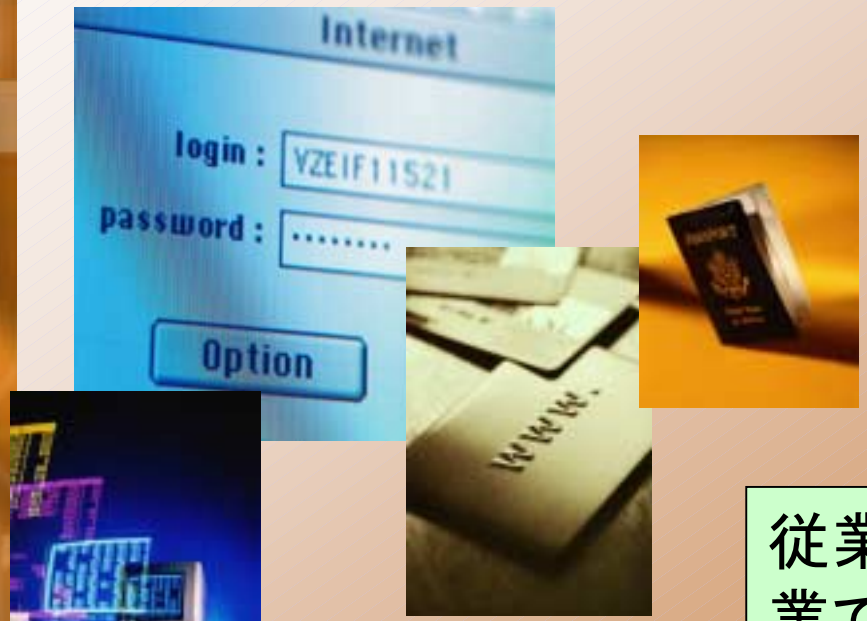
- クレジットカード番号
- 社会保険番号
- 運転免許書
- パスポート番号

- 娯楽趣味
- 興味
- 従業員 認証
- ビジネスカレンダー
- レストラン情報
- 学歴
- 病歴
- 資産…

LIBERTY ALLIANCE PROJECT

すべての認証情報を維持するにはコストが発生

様々な個人情報は分離したインターネット・サイトの中に散在



ユーザ承認

- ユーザにとって不便で面倒

ビジネスごとに異なる

- 市販の認証サービスは、
- 開発および導入が難しい

維持費が高い

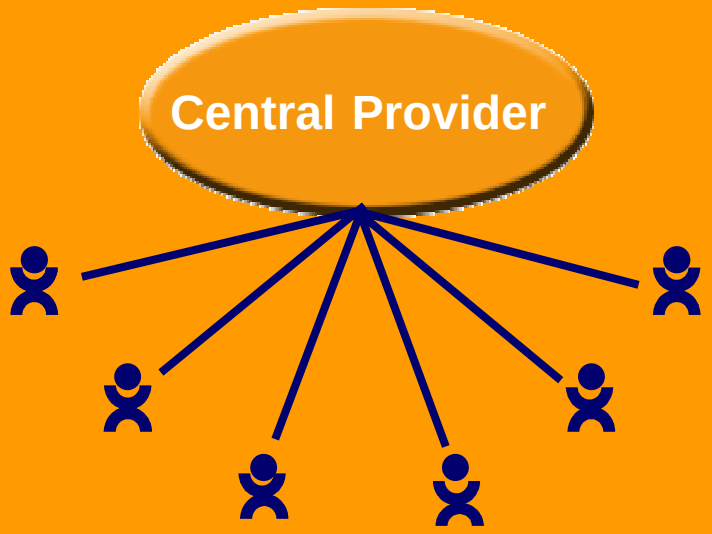
- 異種システムへの連続的な再認証

従業員を管理しているすべての企業でも同じ

連邦型認証にアプローチする Liberty Project

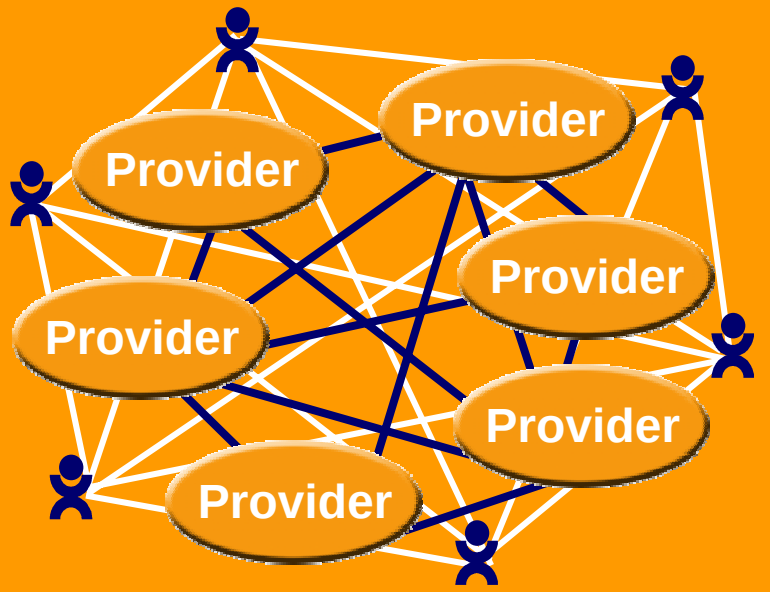
集中型モデル

- 単一リポジトリの中のネットワーク・アイデンティティおよびユーザ情報
- コントロールが集中
- 単一の障害がシステム全体に影響
- 同種システムへのリンク



オープンな連邦型モデル

- 様々な場所のネットワーク・アイデンティティおよびユーザ情報
- 分散したコントロール
- 単一の障害の影響がない
- 同種および異種システムへのリンク



LIBERTY ALLIANCE PROJECT

A Lesson in Value - ATM Networks

Separate Cards with Each Bank

Bank A ATM Card

Bank B ATM Card

Bank C ATM Card

Linked Cards within Bank Networks

Bank ATM Network A

Bank ATM Network B

Bank ATM Network C

Seamless Access Across all Networks

Bank A ATM Card

Bank B ATM Card

Bank C ATM Card

Bank ATM Network A

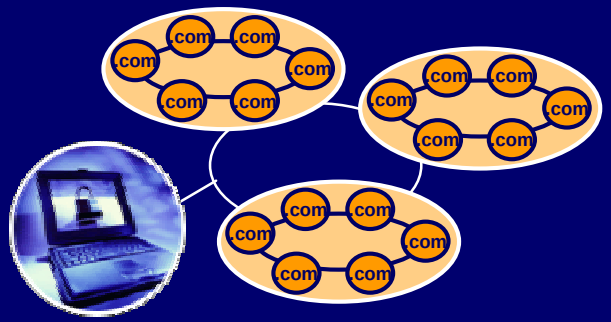
Bank ATM Network B

Bank ATM Network C

Individual Accounts with Many Web Sites

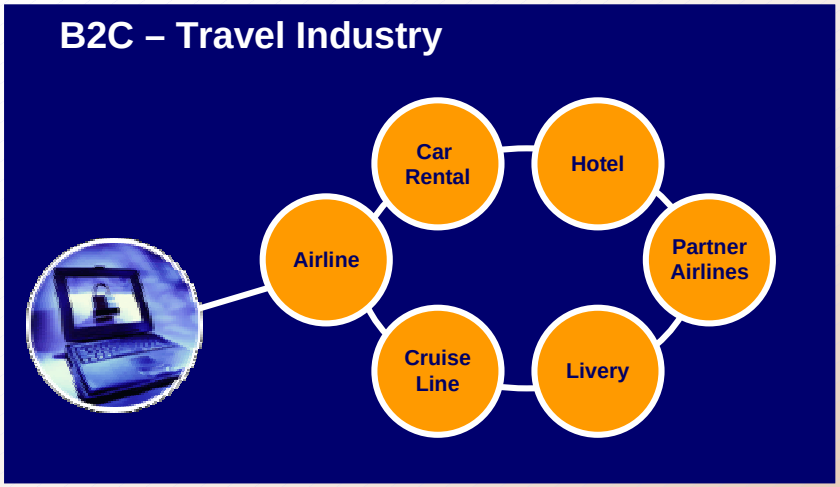
Federated Accounts within Trust Domain

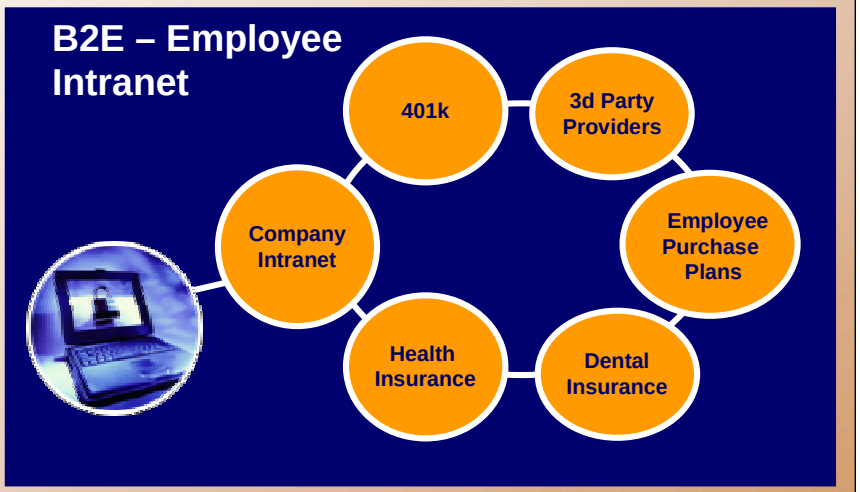
Linkage of Trust Domains

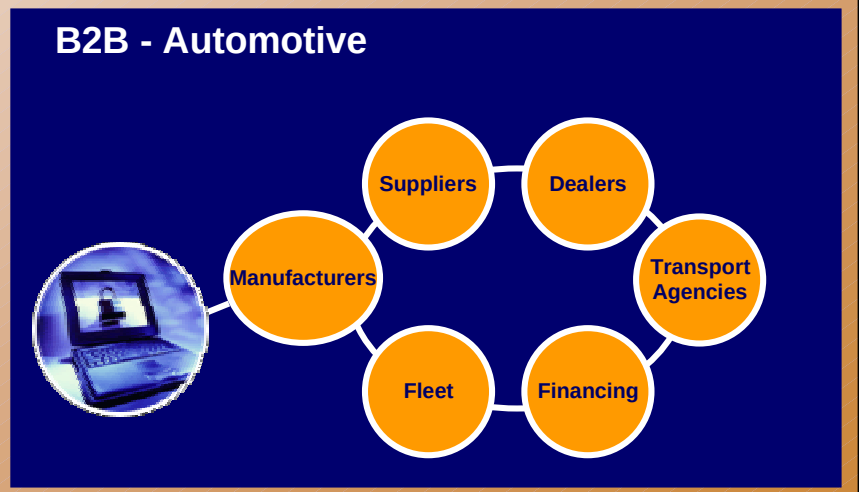


LIBERTY ALLIANCE PROJECT

There are a number of approaches in use today







There is Business Value in Network Identity

LIBERTY ALLIANCE PROJECT

Libertyのソリューション ーフェィズごとのアプローチ

- 迅速な受信および配信をサポート
- 相互に組み込まれるフェイズ
- 拡張・拡大が可能

Phase 1
(2002年7月15日　発表)

連邦型ネットワーク認証

事業協定によって作られた認証領域内の自由に選択できるアカウント・リンクおよび簡素化されたサインオン

すべての機能および仕様に対応できるセキュリティ

Phase 2
(2003年4月15日　ドラフト発表)

認証に基づいた属性共有

コア・アイデンティティ・プロフィール・サービス向けのスキーマ/プロトコル

事業協定によってバージョン1.0で作られた認証ドメインに対応できる簡素化されたサインオン

個人情報／アカウントを連携する権限の委任

Liberty は予定通りに進行
www.projectliberty.org

Liberty Solution - Modular Architecture

The Liberty architecture is composed of modules that can be implemented independent of each other and is based on a foundation of open industry standards foundation of open

Liberty Identity Federation Framework (ID-FF)

Enables identity federation and management through features such as identity/account linkage, simplified sign on, and simple session management

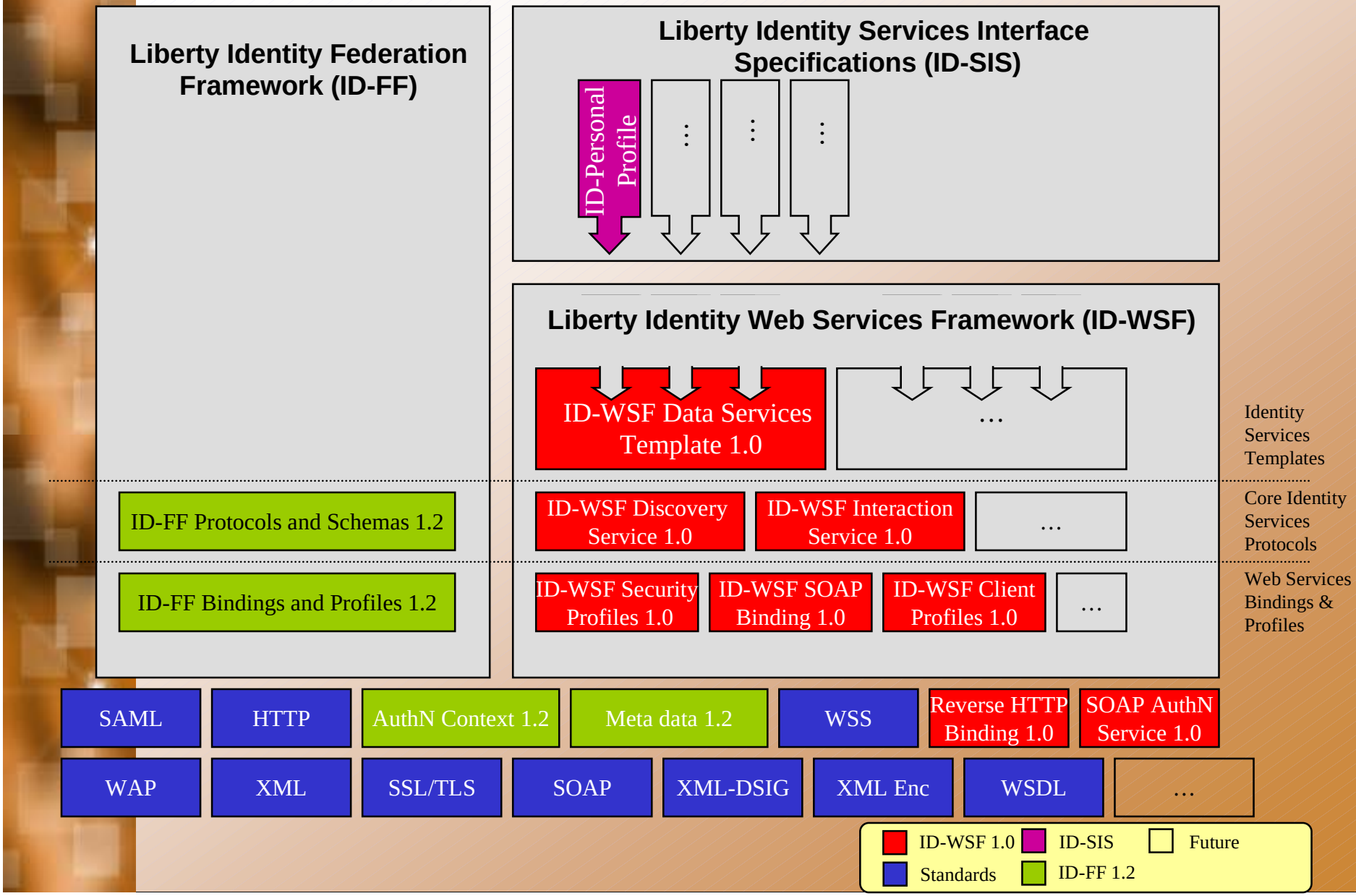
Liberty Identity Services Interface Specifications (ID-SIS)

The schema, and instantiation of the technical implementation as defined by ID-WSF, to provide for interoperable identity services such as personal identity profile service, alert service, calendar service, wallet service, contacts service, geo-location service, presence service and so on.

Liberty Identity Web Services Framework (ID-WSF)

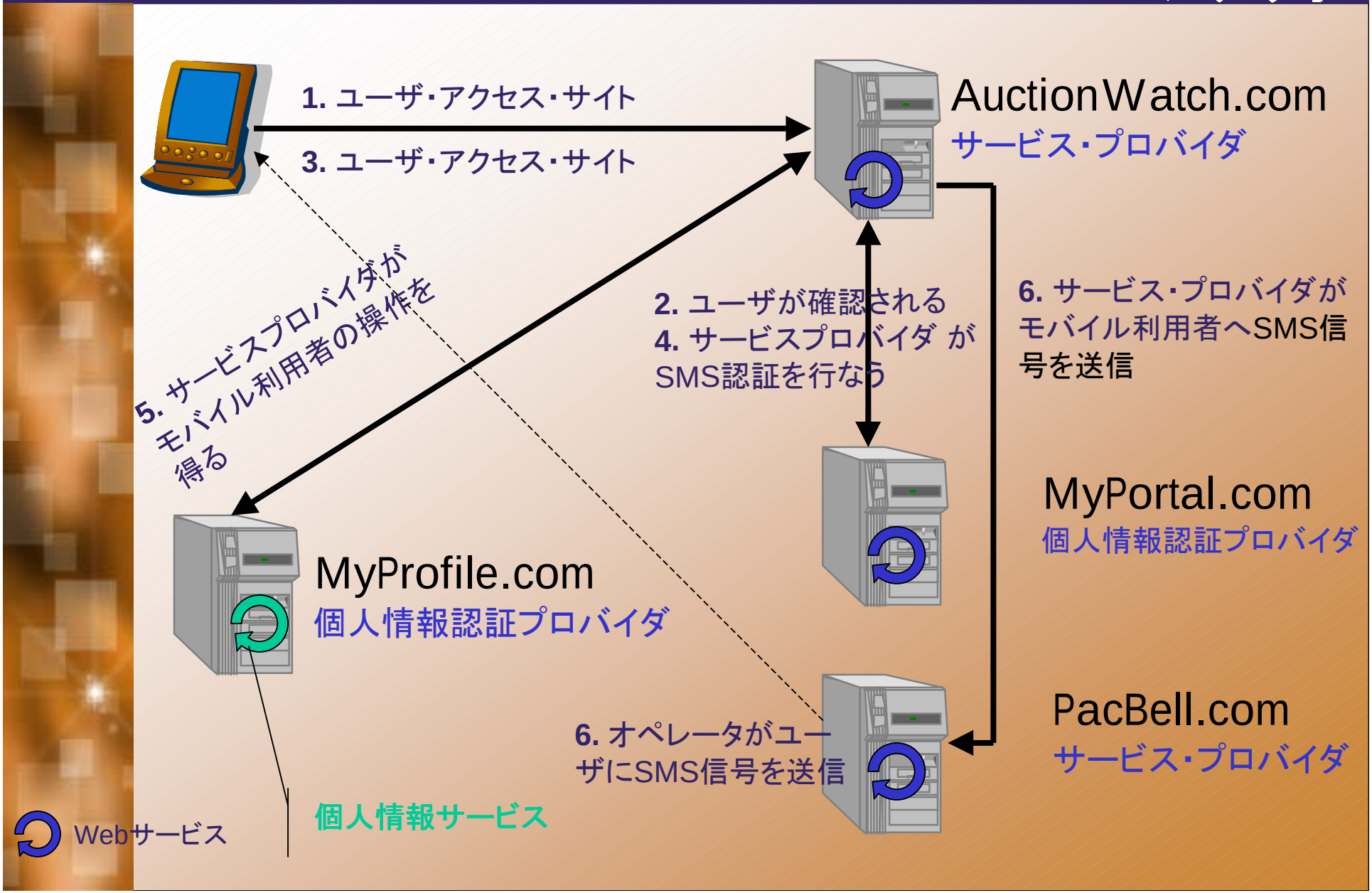
This module will provide the framework for building interoperable identity services, permission based attribute sharing, identity service description and discovery, and the associated security profiles

Liberty ソリューション - アーキテクチャ・コンポーネント

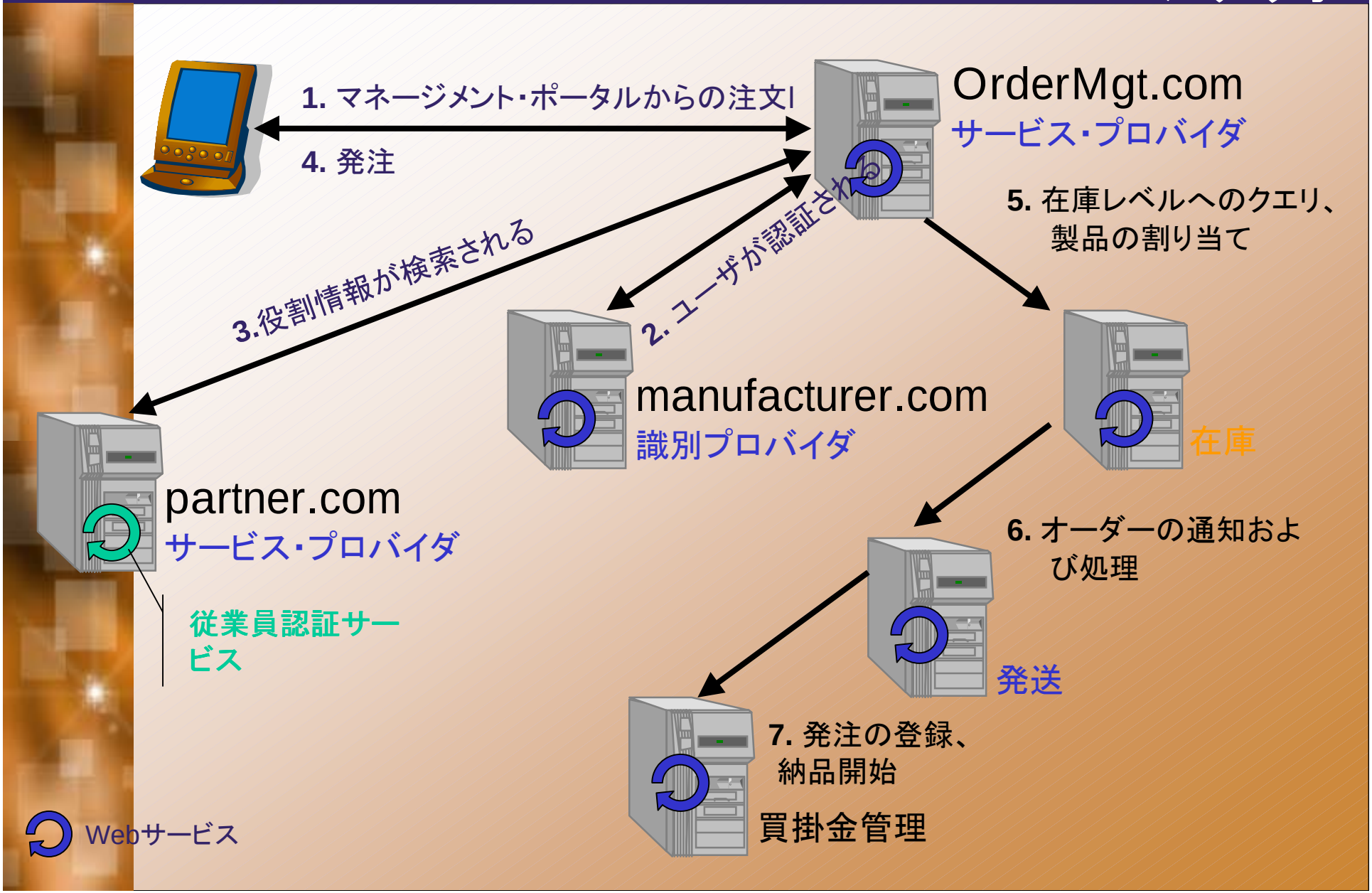


LIBERTY ALLIANCE PROJECT

稼動中のLiberty - B2C シナリオ



稼動中のLiberty - B2B シナリオ

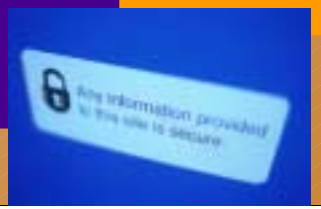


LIBERTY ALLIANCE PROJECT

産業界におけるLibertyの役割

オープンな技術仕様で、フェデレーション型ネットワーク認証でオープンスタンダードを確立：

- 広範囲な認証製品・サービスをサポート
- アカウントフェデレーションを通じて、消費者が個人情報提供者およびアカウントへのリンクを選択できる
- あらゆるネットワーク・サービスの接続およびデバイスから簡単なサインオンを実現
- 企業の新しい収入およびコスト節約の機会を提供
- 企業が経済的に顧客、ビジネス・パートナー、従業員との関係を築ける
- Eコマース（電子商取引）の容易な改善



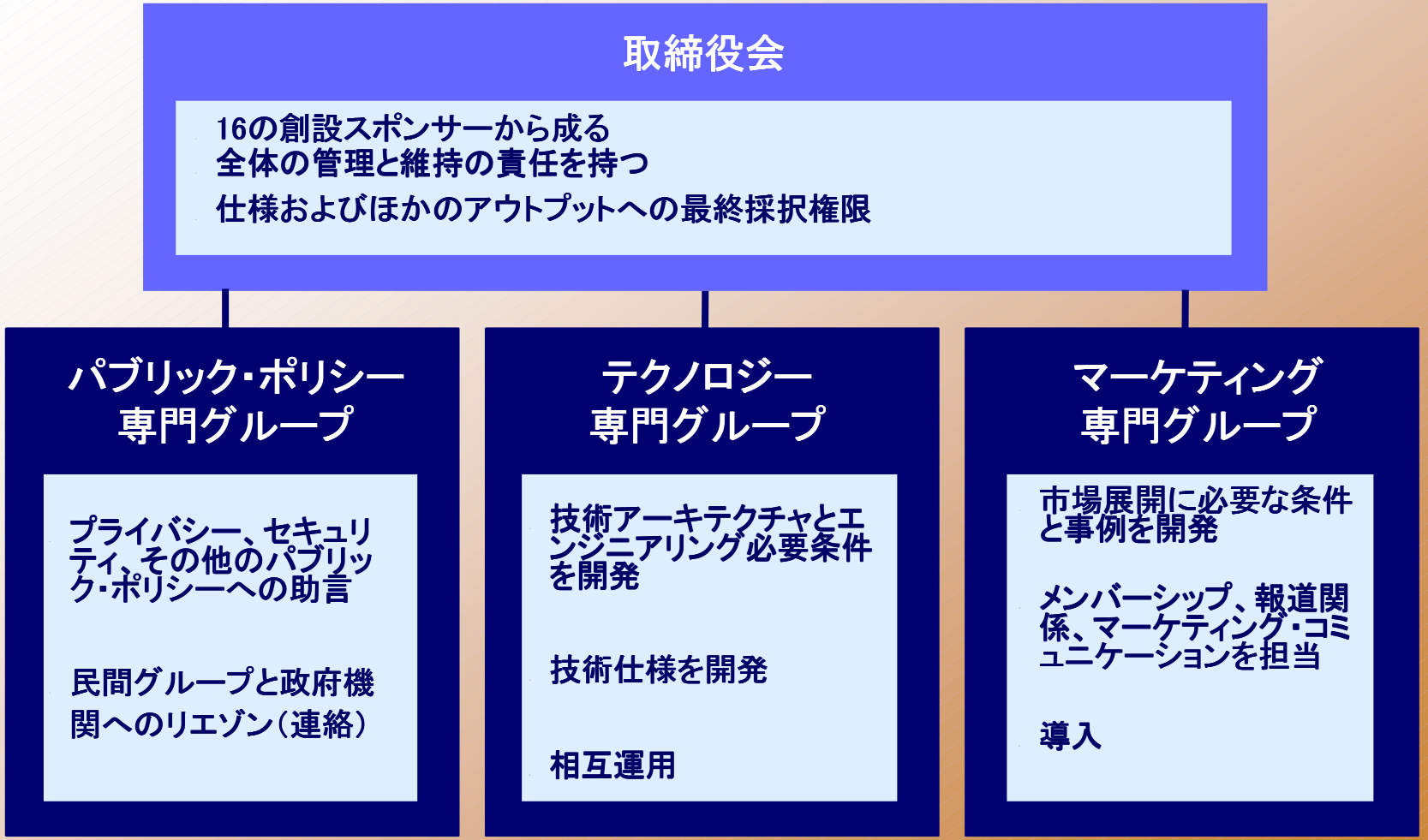
LIBERTY ALLIANCE PROJECT

アライアンス・メンバー

現在、計10億人の顧客を持つ160以上の営利団体、非営利団体、政府組織が、アライアンス・メンバーです

＊アライアンス・メンバーの一部

Liberty Alliance Project 組織図



HPがLibertyに投資する理由

- 主要顧客の多くと協力し、共通したアプローチで市場の標準化を推進
  - ボーダフォン、ノキア、GM、アメリカン・エキスプレス、その他
  - HP IceWall SSO: 顧客の要求に直接応じる
- クライアントにガイダンスを提供
  - 世界で展開するHP Consulting のWorldwide Security Consulting Practice
- 多くの大規模セキュリティ・ベンダと協力し、パートナーシップを拡大
  - ベリサイン、RSA、Netegrity、他
  - 例: Mobile Services Delivery Platformに組み込む

リバティ・アライアンスへのお誘い

- リバティ・アライアンスはセキュアに個人情報を守り、Webサービスのユーザ情報管理を実現するデファクト技術ソリューションです。
- すべてのWebサービスアプリケーションは、このリバティ・アライアンス・アイデンティティ管理を必要としています。
- Webサービスのユーザ情報管理でリードするため、リバティ・アライアンスへの参画をお待ちしております。

www.projectliberty.org

LIBERTY ALLIANCE PROJECT

Q&A

For more information:

jason.rouault@hp.com

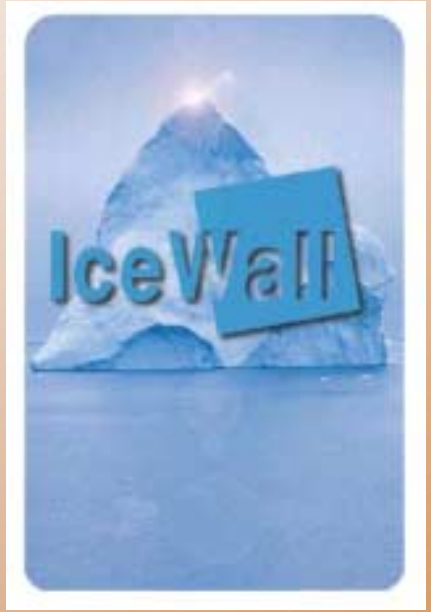
www.projectliberty.org

日本HPが提供する
リバティ・アライアンス対応ソリューション

※**hp IceWall SSO** はリバティ・アライアンス技術仕様バージョン1.1に完全対応したソリューションです。

※**hp IceWall SSO**は、そのセキュリティ、スケーラビリティ、信頼性から多くのお客様のご支持を頂き、国内で通信、金融機関を中心に1000万以上のユーザーライセンス販売実績を持っています。特に損保業界においては、ほぼデファクト・スタンダードとして使用されているシングル・サインオン(SSO)製品です。

※hp IceWall SSOはhp社のリバティ・アライアンス対応製品として、世界に発表しております。（右図）



http://www.jpn.hp.com/go/icewall
http://www.hp.com/jp/liberty